

モニタリング機能の活用

第2学年

単元名:「化学変化と原子・分子」

モニタリング機能を活用して、結果を共有したり、一人一人の進捗状況を把握したりしている様子



活用の仕方

【結果の考察・交流】

・「結果のモニタリング」
→全員の実験結果を見ることができるようにおき、実証性、客観性をもとに考察することができるようにする。

・「リアルタイム把握」
→教師は、協働学習支援ツールのモニタリング機能を使って一人一人の進捗状況を把握し、指導に当たる。

教師の指導のポイント

- 生徒には、進捗状況によって、画面の色を変えるように指導しておく。また、「誰が、どのような結果を得ているか。」「どのような考察をしているか。」を確認してから、交流を行うように指導することで、仲間の考えをもとに、自らの考えを深めることができるようにする。